授業計画書

担当教員名: 大橋　忠弘　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 植物・園芸デザインコース	樹木学	前期	コマ （　　）	32 コマ （　　）
			備考 1週間集中講義 対面授業のみ実施	

授業のねらい
地上に生育する樹木は多種多様であり、それぞれの種についての知見を深め、樹木の存在意義や重要性を認識する。可能な限り多くの種に接する機会を持ちたい

授業計画	
テーマ	内容・方法・達成目標
樹木学の領域、樹木の位置づけ 樹木の分類、命名と検索 樹木の大区分：種子植物と裸子植物 以下の各論についての基本方針解説 ・マツ科の携帯・分布・系統・植生 ・スギ科について ・ヒノキ科について ・その他の裸子植物について ・ヤナギ・カバノキ科について ・ブナ科について ・モクレン科について ・ツバキ科について ・カエデ科について ・同上以外の離弁花類の解説 ツツジ・モクセイ科について その他の合弁花類の解説	樹木について認識することには、実物との対応ができないと、利活用にふべんであるので、実物に接しながら講義を進めることを基本とする。

評価方法
聴講者それぞれに樹木の1種を選択させて、講義の内容と独自の調査研究からレポートをまとめて提出し、それをもとに評定する。樹木の選択は、聴講者ごとに
別種とする。

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

プリントを配布する

学生へのメッセージ

樹木の種類と特徴がわかると山や街の景色が変わって見え、楽しくなります。そしてたくさんの樹木に興味を持ち
学んだ知識を今後の仕事に役立てましょう。

授業計画書

担当教員名: 齊藤 祐輔　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 1年次 植物・園芸デザインコース	植物学概論	前期	2 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

植物（草本及び木本）の体がどのような作りをして、それが生育とどのような関わりを持っているかを理解する。
植物体中における養分動態と吸収および自然界での養分供給のメカニズムを学ぶことで、植物の成長についての理解を深め
肥培管理や成長コントロールのための基礎知識を習得する。

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	植物のふしぎ	講義の説明、導入
2	植物の体のつくりと働き 1	植物細胞
3	植物の体のつくりと働き 2	組織系
4	植物の体のつくりと働き 3	根のつくり
5	植物の体のつくりと働き 4	葉のつくり
6	植物の体のつくりと働き 5	花・実のつくり
7	植物の体のつくりと働き 6	1章まとめと練習問題
8	植物の生活 1	植物の成長
9	植物の生活 2	成長ホルモン
10	植物の生活 3	光合成と呼吸作用
11	植物の生活 4	水と栄養
12	植物の生活 5	病害
13	植物の生活 6	植物の分類・分布
14	植物の生活 7	生態系
15	試験対策	2章まとめと練習問題、期末試験にむけた解説
16	レポート作成	講義で学習した内容を振り返り、レポートにまとめて提出する

評価方法

出席、受講態度、課題レポート、期末試験などで総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	10	%
期末試験	70	%
		%

教科書・教材

改定 植物学概論 （職業訓練教材研究会）
視覚でとらえる生物図録

学生へのメッセージ

当校で学ぶ野菜・果実・花を扱う実習授業を受講するにあたり、植物の生理・生態を科学的に理解した上で
知識と技術を習得するのが合理的であり、その基礎となる重要な科目である。

授業計画書

担当教員名: 秋山 正之　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 1年次 植物・園芸デザインコース	販売サービス	1年後期	2 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

《目的》
1. 仕入方法やマーケティングなど、販売活動の一連を学び、一部の店舗運営業務が実践できることを目指す。
2. 接客に必要な言葉遣い、ホスピタリティを学び、販売員に求められる接客の立ち振舞いができることを目指す。

授業計画	
テーマ	内容・方法・達成目標
1. イントロダクション ～コンビニの経営戦略～	身近な小売業・コンビニエンスストアで実践している経営戦略をワークを通じて学び、授業で学ぶことを紹介する。
2. 小売業の役割	小売業が社会に果たしている役割を学ぶ。
3. 商品計画・仕入計画	マーチャンダイジングの一連を学び、商品計画、仕入計画における留意点と品ぞろえの差別化戦略について理解する。
4. ディスプレイの種類と効果	売場で実践されているディスプレイの紹介を通じて、名称と効果を学び、商品や用途からディスプレイの提案ができることを目指す。
5. 季節商品とディスプレイの実査	季節に応じた商品計画、ディスプレイを店舗に赴き、買い物を通じて実査を行い、グループ発表により学んだ内容の理解を深める。
6. 販売促進の種類と効果	広告などの販売促進策の種類と効果を実例を通じて学び、販売促進の提案ができることを目指す。
7. 市場が変化する要因	これまでの市場変化の実例を紹介し、今後の日本において考えられる市場変化をグループワークを通じて考察する。
8. マーケティング① 4P分析	販売戦略の計画に必要な4P分析を企業での実践例から学び、ケーススタディを通して計画立案ができることを目指す。
9. マーケティング② 顧客満足と顧客管理	顧客満足と顧客管理を企業での実践例から学び、顧客育成に向けた差別化戦略をディスカッションし理解を深める。
10. 販売業務① 言葉遣いとマインド	接客時の声掛けとその実例、ホスピタリティを中心とした心構えを学び、接客技術に関する知識を深める。
11. 販売業務② 接客技術	模擬接客を実践し、対面販売で販売員に求められる基本的な所作振る舞い、セールステクニックを身につける。

評価方法

右の評価割合で総合的に判断する。

評価割合		
出席	30	%
授業貢献	20	%
期末試験	50	%
		%
		%

教科書・教材

各回にて資料を配布する。

学生へのメッセージ

小売業やサービス業は自社が顧客に選ばれるために、多くの手法を実践し日々営業をしています。
モノを売る、選ばれる店になるために販売員が知っておくべき知識や技術を学びます。

授業計画書

担当教員名: 佐野　義孝　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 植物・園芸デザインコース	植物病理学	後期	2 コマ （　　）	32 コマ （　　）
			備考　対面授業のみ実施	

授業のねらい

「植物病害」を理解し、その対策を講ずるためには、植物の病気の正確な診断、より適切な防除法の選択が重要である。そのために、1）植物の病気の診断の基礎知識を習得するとともに、2）病気の伝染環（病原菌の生活史）や、3）発生生態に関する理解が必須である。そこで、1）～3）に関する事項を理解することを授業の目標とする。

授業計画	
テーマ	内容・方法・達成目標
1　植物の病気とは？（1）植物の病気と人間の生活との関係 （2）植物の病気と原因，（3）発病までの過程，（4）病気の発生条件 2　菌類病（1）菌類とは，（2）変形菌類による病害 （3）鞭毛菌類による病害，（4）接合菌類による病害 （5）子のう菌類による病害 （6）担子菌類による病害 （7）不完全菌類による病害 3　細菌病（1）細菌とは，（2）細菌の種類と病害 （3）ファイトプラズマ病 4　ウイルス病（1）ウイルスとは，（2）ウイルスの種類と病害 （3）ウイルスの伝染方法 5　病原性と抵抗性（1）寄生性の分化，（2）病原性 （3）抵抗性 5　病害診断と防除方法（1）病害診断，（2）総合防除 （3）耕種的防除法，（4）物理的防除法， （5）生物的防除法，（6）化学的防除法	植物病理学は、植物の生育を阻害する要因の中で、病害を対象とし、その原因と経過を明らかにし、その防除法を研究する応用科学である。 本講義では、樹木の病害を例にして、病気の原因となる主要な伝染性病原（菌類、細菌、ウイルスなど）の生物学的・病原学的特性に理解を深め、発病と環境、伝染方法、病原性と抵抗性など、病害診断および防除の基礎について学ぶ。

評価方法	評価割合		
試験および授業態度による		試験	80 %
		レポート	%
		授業態度	20 %
		出席	%
			%

教科書・教材

随時プリントを配布する

学生へのメッセージ

土壌の構造や性質を理解することは、農業における土づくりの基本です。
大いに学んで、現場に役立ててください。

授業計画書

担当教員名: 秋山 正之　　計画書作成日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 1年次 植物・園芸デザインコース	園芸福祉概論	前期	2 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

福祉（ふくし、英: Welfare）とは、「しあわせ」や「ゆたかさ」を意味する。
植物を使い、社会に貢献し人々をしあわせにするにはどうしたらよいか、ディスカッションや実際に園芸福祉活動を行い考えていく。２月には初級園芸福祉士試験の合格をめざす。

授業計画

回	テーマ・内容	方法・達成目標
1	概論	園芸福祉とは何か、初級園芸福祉士試験の説明
2	歴史と今後	園芸福祉の始まりと今後の展開について
3	園芸福祉の活動とは①	園芸福祉活動の可能性について考える
4	園芸福祉の活動とは②	園芸福祉活動の可能性について考える
5	園芸福祉の効果、対象	誰にどのように園芸福祉を行い、どのような効果が得られるか考える
6	団体運営の実際	団体を運営していくには、HPなど参考にする
7	コミュニティー作り	地域コミュニティーで活動するにはどうしたらよいか、実例をあげ学ぶ
8	グリーンツーリズム・市民農園	植物を使いどのような仕事に展開できるかを考える
9	園芸福祉にかかわる植物	園芸福祉に使用される植物とは、効果、管理
10	園芸福祉活動の組織作り	組織活動に求められる人材について考える
11	スワンの里①	高齢者施設での園芸福祉実習を通じて高齢者とのコミュニケーションを学ぶ
12	スワンの里②	高齢者施設での園芸福祉実習を通じて高齢者とのコミュニケーションを学ぶ
13	園芸福祉現場見学：かとうふぁーむ	苗生産で園芸福祉を導入している現場を視察する
14	プログラム作り	グループでの園芸福祉活動プログラムを作成する
15	レポート、発表	園芸福祉活動プログラムを発表し、検討する
16	試験対策	初級園芸福祉士試験の対策

評価方法

課題作品の成績点数と出席及び受講態度を含め総合的に判断する。

評価割合		
出席	20	%
受講態度	30	%
レポート	50	%
		%
		%

教科書・教材

園芸福祉入門(創森社)

学生へのメッセージ

座学を中心に学習するが、園芸福祉施設や実習も行う。
実習を通して園芸福祉活動を運営する側について理解を深める。

授業計画書

担当教員名: 長谷川 均　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 2年次 植物・園芸デザインコース	都市計画学	前期	2 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 選択科目 対面授業のみ実施	

授業のねらい

都市を構成する構造物（道路、下水道、洪水対策）等について学習する。
また。土地利用計画、年計画法、開発行為、都市区画整理法等について概要を理解する。
後半は、簡単な宅地造成計画の演習を行う。

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	都市計画の概要、土地利用について	都市計画の概要、土地利用について学ぶ
2	都市交通について	都市交通について学ぶ
3	公共施設について（下水道）	公共施設について（下水道）学ぶ
4	公共施設について洪水対策）	公共施設について洪水対策）学ぶ
5	公共施設について（洪水対策について演習）	公共施設について（洪水対策について演習）
6	宅地造成計画	宅地造成計画を立てる
7	宅地造成計画	宅地造成計画をたてる
8	宅地造成演習（道路計画）	宅地造成演習（道路計画）
9	宅地造成演習（道路計画）	宅地造成演習（道路計画）
10	宅地造成演習（調整池計画）	宅地造成演習（調整池計画）
11	宅地造成演習（調整池計画）	宅地造成演習（調整池計画）
12	宅地造成演習（下水道計画）	宅地造成演習（下水道計画）
13	宅地造成演習（下水道計画）	宅地造成演習（下水道計画）
14	宅地造成演習（緑地公園計画）	緑地公園計画を学ぶ
15	宅地造成演習（緑地公園計画）	実際の緑地公園を見に行く
16	まとめ	今まで学んだことをまとめる

評価方法

レポートの着眼点、論理性、独創性、学術性を総合して50%として評価し
演習の成果を着眼点、論理性、独創性、学術性、プレゼンテーションを
総合して50%として評価する。

評価割合		
出席		%
受講態度		%
課題レポート	100	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

篠原修編・景観デザイン研究著「景観用語辞典」靖国社

学生へのメッセージ

授業計画書

担当教員名: 長谷川 均　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 2年次 植物・園芸デザインコース	景観論	後期	2 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 選択科目 対面授業のみ実施	

授業のねらい

景観という現象の特徴を理解し、景観を考える上での着眼点や問題意識を養う。
こうした景観に関わる知見を基礎として、景観計画・設計のの基礎的な手法・プロセスを理解・習得する。

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	景観論の概要(ガイダンス)	景観論の概要について学ぶ
2	景観に関わる視覚的特性	ゲシュタルト心理学をはじめとする人間の視知覚に関わる特性や法則について学ぶ
3	景観の概念	景観の持つ意味、捉え方、種類など景観とは何かを学ぶ
4	景観各論 Ⅰ(道路・街並、都市、河川)	道路景観、都市(町並み)景観、自然景観(山岳・森林等)、農村景観、河川景観、海岸景観等個別の景観についてその特徴や課題、計画、設計手法について学ぶ
5	景観各論 Ⅱ(港、自然・田園、伝統景観)	
6	景観計画・設計の基礎 Ⅰ	景観計画・設計における基礎的な作図手法やプレゼンテーショ ン手法を習得する
7	景観計画・設計の基礎 Ⅱ	
8	まちづくりの実際 Ⅰ	新潟市で行われてきたまちづくりでは地元住民の意見をどのようにまとめられてきたのか、またデザインに反映するためにはどのような手法が必要なのかを学ぶ
9	まちづくりの実際 Ⅱ	
10	新潟駅前景観計画 Ⅰ	新潟駅万代口の景観プロジェクトを例に、実際にどのように進行しているのか把握したうえで、設計・デザインを考える。各々のデザインアイデアを発表し講評する
11	新潟駅前景観計画 Ⅱ	
12	建築とまちなみ	住宅やビルなどの建築物とまちなみについての関係について考察する
13	庭とまちなみ	庭木、街路樹がどのようにまちなみ形成にかかわっているのか調査し考察する
14	特色のある地方都市景観	各地の事例を紹介し、景観設計の手法を学ぶ
15	景観計画・設計演習	これまで学んだ事項を踏まえ、各自の地元景観について調査実習を行う
16	プレゼンテーション	調査結果の発表・講評を行い景観計画・設計の全容を確認する

評価方法

課題作品の成績点数と出席及び受講態度を含め総合的に判断する。

評価割合		
出席	20	%
受講態度	30	%
課題レポート	20	%
期末試験	30	%
		%

教科書・教材

篠原修編・景観デザイン研究著「景観用語辞典」靖国社

学生へのメッセージ

本授業は、景観論の理論と景観に関わる現代社会の問題点、課題、景観計画・設計の検討過程・作業過程を正しく理解するのが目的です。

授業計画書

担当教員名: 齊藤 祐輔　　計画書作成日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 1年次 植物・園芸デザインコース	フラワーカラー	後期	2 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

花の色や色彩学の基礎を学びフラワーカラー検定合格を目指す。また、カラーカードやパソコンを使い色を組み合わせる配色の実習を行う。

授業計画

回	テーマ・内容	方法・達成目標
1	花色基礎知識①	概論、色素、色相、明度、彩度
2	花色基礎知識②	CUS色相環、
3	花の色①	色と花の名前
4	花の色②	色と花の名前
5	インテリア、エクステリア	インテリア、エクステリアの色彩デザイン
6	ガーデニング	庭に植える植物の配色
7	色のイメージ	心理効果
8	実習①	配色実習
9	色彩学①	配色調和
10	色彩学②	対比現象、同化現象
11	日本の花の文化	色と花の歴史
12	実習②	配色実習
13	実習③	配色実習
14	検定対策①	フラワーカラー検定の過去問題　解説
15	検定対策②	フラワーカラー検定の過去問題　解説
16	検定対策③	フラワーカラー検定の過去問題　解説

評価方法

テストと出席及び受講態度を含め総合的に判断する。

評価割合		
出席	20	%
受講態度	30	%
期末テスト	50	%
		%
		%

教科書・教材

フラワーカラー検定テキスト、パソコンなど

学生へのメッセージ

植物、花だけではなく、インテリア、ファッションなど身の回りにある色彩配色について日ごろから注意して観察してみる。

授業計画書

担当教員名: 木下 聡子　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 1年次 植物・園芸デザインコース	フラワービジネス論	前期	3 コマ ( )	48 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

これからのフラワー業界を担う人材に必要なフラワービジネスの基礎知識を取得する。
フラワービジネスの必要な基礎知識として、業界の仕組み、文化と歴史、販売に関する知識、
店舗演出及び商品知識を学ぶ

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	フラワー業界について	フラワー業界についてガイダンス
2	マーケティング知識①	マーケティングの専門用語など知識を身につける
3	マーケティング知識②	マーケティングの専門用語など知識を身につける
4	販売業務①	販売の業務内容を学ぶ
5	販売業務②	販売の業務内容を学ぶ
6	販売技術①	接客の知識、技術を身に着ける
7	販売技術②	接客の知識、技術を身に着ける
8	店舗演出①	販売促進につながる店の立地、構造、内装について学ぶ
9	店舗演出②	販売促進につながるディスプレイについて学ぶ
10	店舗演出③	販売促進につながるディスプレイについて学ぶ
11	店舗演出④	販売促進につながるPOPについて学ぶ
12	店舗演出⑤	販売促進につながるPOPについて学ぶ
13	商品知識①	フラワービジネスに関わる商品知識を身に着ける
14	商品知識②	フラワービジネスに関わる商品知識を身に着ける
15	商品知識③	フラワービジネスに関わる商品知識を身に着ける
16	花文化史・産業史	花見まつわる文化史、産業史について学ぶ

評価方法

出席、受講態度、課題、期末試験などで総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	30	%
期末試験	50	%
		%

教科書・教材

フローリスト検定対応講座テキスト　その他プリント

学生へのメッセージ

幅広い知識を身に着け、フラワー業界で活躍できる人材を目指しましょう

授業計画書

授業者名　　課題 短縮　　印刷日：

学科／学年／コース	科目名	開講期間	通当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 1年次 植物・園芸デザインコース	ガーデンデザイン論	前期	2 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3	32 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3 ／ 3
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

植物計画を立てられる
テーマ、コンセプトにあわせた植物が選べる

授業計画		
	テーマ	内容・方法・達成目標
1	植物を知るpart1 分類・種のライブ・品種のこと	学園通園コンテームの応募事業に合わせてガーデンデザインし、その植物の計画を立てる みどり事を考えてつくる全国コンテストの応募全国に合わせた植物を考える
2	植物を知るpart2 植物の生育環境 一日向・日陰・半日陰～ 植物が好きな土質は？	
3	春りで楽しむ植物たち～樹木・草花～	
4	春りで楽しむ植物たち～グループフーク・美食～	
5	植物計画を考える～植物の機能と種類～	
6	植物計画を考える～植物の生長量を配慮した計画～	
7	植物計画を考える～植物の組み合わせ～	
8	植物計画を考える～グループフーク・美食～	
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

評価方法		
出席数、授業態度、提出物から配点し、総合判断で評価する	評価	出席 %
		受講態度 %
		課題レポート %
		期末試験 %
		%

教科書・教材
プリントを配布

学生へのメッセージ
自分でテーマを決めそのテーマにあわせた植物種を選んでガーデンデザインをする楽しさを感じていただきたいです

授業計画書

担当教員名: 齊藤 祐輔　　計画書作成日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 1年次 植物・園芸デザインコース	環境保全論	後期	2 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 選択科目 対面授業のみ実施	

世界を挙げての環境問題はめまぐるしい速度で進展しつつある。しかし、それでも間に合わないほど地球環境の危機の進行は急速である。どのような国際的な動向、取り組みがなされているのかを学び、SDG's を達成するために、どう対応していけばよいのかを考える。緑に関わる者として自分の思った事、考えをまとめ発表できるようになる事を目的とする。

授業計画

回	テーマ・内容	方法・達成目標
1	導入	・授業の目的 ・幸せな国とは
2	自然環境に関わる思想の変遷	・自然再生を目指す考え方 ・人間と自然との関わり方
3	地球環境問題との関わり	・地球環境問題とは ・地球温暖化
4	自然環境に関する国際的枠組み	・生物多様性条約 ・種の保存に関する取り決め等
5	環境再生医としての活動に関連する国内の枠組み	・環境基本法 ・自然環境とその保全
6	自然環境とその再生に関わる基礎的知識	・生態系の成り立ち ・自然環境再生の視点
7	農山村における自然環境再生	・山村（中山間地）の自然環境再生 ・農村の自然環境再生
8	陸水域・海域海岸における自然環境再生	・陸水域における自然環境再生 ・海域海岸における自然環境再生
9	都市における自然環境再生	・都市の自然環境の特性と再生の考え方
10	地域コミュニティーの醸成方法	・まちづくり・地域づくりへの積極的な関与
11	自然環境に関わる環境学習のあり方	・環境教育、環境学習とESD ・環境学習の方法
12	活動主体とそのリーダーのあり方	・活動主体としての専門的知識、経験の蓄積
13	地域的取り組み活動の実際	・学校ビオトープ ・グラウンドワーク ・里地里山保全
14	不都合な真実	・地球温暖化について
15	グリーンツーリズム	・グリーンツーリズムとは ・各地の実例
16	生物多様性とビジネス	・絶滅危惧種 ・なぜ多様性なのか ・環境ビジネス

評価方法

テストの成績点数と出席及び受講態度を含め総合的に判断する。

評価割合		
出席	10	%
受講態度	30	%
ディスカッション	30	%
期末テスト	30	%
		%

教科書・教材

環境再生医 （環境新聞社）

学生へのメッセージ

日頃から環境問題のニュース、記事に関心を寄せ、自分なりの意見を持っておく。ディスカッションが主な活動となる。活発な意見の交換を期待する。

授業計画書

担当教員名: 北澤　道子

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 植物・園芸デザインコース	環境と法規	後期	2 コマ (　　)	32 コマ (　　)
			備考 選択科目 対面授業のみ実施	

授業のねらい
自然や環境にかかわる法律の概要を習得し、コンプライアンス、CSRの意識を醸成する。
また、労働者とその安全に関する法律についても学習し、作業員としての適性を高めることも
目的とした。

授業計画	
テーマ	内容・方法・達成目標
1 ガイダンス	法律とは　その体系
2 身近な法律と実例	最近の法改正の話題等で法律を学ぶ意味を理解する
3 環境に関する法律	
環境基本法	基本理念、指針など主たる部分の理解を深める
	環境関連の法体系、関連について学習する
自然公園法	目的と規制事項について
都市公園法	目的と規制事項について
道路法	植樹帯とその役割について
景観法	目的と規制事項および事例について
生産緑地法	生産緑地法と2022年
都市緑地法	目的と計画について
その他　関連法規	
4 労働と環境に関する法律	
労働基準法	基本的な法定事項
労働安全衛生法	目的と役割、附則　安全な労働とその監督
5 園芸業界について	
花き振興法	目的と現状について
6 まとめ	

評価方法	評価割合		
試験及び出席状況にて評価する		試験	70 %
		出席	30 %
			%
			%
			%

教科書・教材

随時プリントを配布する

学生へのメッセージ

法律という分野は、難しい表現や抽象的な表現が多くあります。それを解釈することは人間力の向上につながります。
また、この分野はまさに「知らないと不利益になる」典型でもあります。安全管理や法令遵守について大いに学んでください。

授業計画書

担当教員名: 齊藤 祐輔　　計画書作成日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 2年次 植物・園芸デザインコース	施工管理学	前期	2 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 選択科目 対面授業のみ実施	

2級造園施工管理技士資格試験問題の範囲から、植栽、庭園、遊戯・運動施設、擁壁、舗装、排水、建築、電気、給水、測量、設計図書、施工管理、関連法規など土木系の学習をする。受講生は後期に実施される2級造園施工管理技士資格試験へ受験することができる。また植物の性質や管理、仕事の計画など園芸業界一般にも使える知識を習得する事を目指す。

授業計画

回	テーマ・内容	方法・達成目標
1	造園の歴史と様式	・日本庭園の特色 ・代表的庭園 ・様式、特徴
2	土壌	・土壌の成り立ち ・三相構造 ・土性 ・腐植
3	肥料	・肥料の三要素 ・有機、無機肥料 ・施肥
4	植栽計画	・植生 ・植栽の機能 ・伝統的技法 ・植栽図
5	植栽工	・植栽適期 ・養生の方法 ・施工の手順
6	植物材料	・分類 ・形態 ・特性
7	材料	・岩石 ・石材 ・木材 ・レンガ
8	造園施工	・舗装 ・石積み ・庭石 ・石組み
9	遊戯、運動、公園施設	・施設の規格、基準、安全性 ・各施設の種類、特徴
10	土木工事	・土、岩の特性 ・施工上の留意点 ・建設機械
11	コンクリート、舗装工	・コンクリートの打設、養生、管理 ・舗装の施工
12	擁壁、排水工	・擁壁の種類、留意点 ・管渠布施工
13	建築、電気、給水工事	・木造建築の名称 ・照明機器の特色 ・給水の設備
14	設計、測量	・平板、水準測量 ・設計図書 ・記号
15	施工管理	・工程表 ・管理図 ・品質管理 ・品質特性
16	関連法規	・労働安全衛生法 ・建設業法

評価方法

テストと課題作品の成績点数と出席及び受講態度を含め総合的に判断する。

評価割合		
出席	20	%
受講態度	30	%
期末テスト	50	%
		%
		%

教科書・教材

2級造園施工管理徹底研究 井上国博・内田義彦 （オーム社）

学生へのメッセージ

日頃から生活環境と緑の関係、自然との調和、うるおいのある環境の創出に関心と自分なりの意見を持つ。外仕事の広い範囲を学習するので復習を行うよう心掛ける。

授業計画書

担当教員名: 大竹 憲邦　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 2年次 植物・園芸デザインコース	土壌肥料学	前期	2 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 遠隔授業のみ実施	

授業のねらい

土壌の化学的・物理的性質の理解を基礎に、土壌の果たす生産機能や環境保全機能を学び、植物の栽培に欠かせない土壌の窒素、リン、カリなど肥料全般に関する知識と土壌との関わりを学ぶ。

授業計画	
テーマ	内容・方法・達成目標
1 植物にとっての土壌と肥料 2 土壌を構成する鉱物 3 土壌の分類 4 土壌の生物性 5 土壌の化学性（1） 6 土壌の化学性（2） 7 土壌の物理性（1） 8 土壌の物理性（2） 9 土壌有機物の種類と機能 10 生物生産の場としての土壌 11 肥料の変遷と現状 12 肥料の種類と特徴 13 肥効と施肥方法 14 土壌の環境保全機能 15 土壌診断（物理性） 16 土壌診断（化学性）	1. 土壌を構成する一次鉱物と粘度鉱物およびその機能について解説し、土壌の生物性、化学性、物理性および土壌有機物の機能について解説する。 2. 生物生産の場としての土壌及び肥料の種類および特性について解説する。 3. 土壌の環境保全機能について解説する。 4. 土壌診断方法について解説する。各項目の順に適宜作成した資料をもとに講義を行う。

評価方法	評価割合		
試験および授業態度による		試験	80 %
		レポート	%
		授業態度	20 %
		出席	%
			%

教科書・教材

随時プリントを配布する

学生へのメッセージ

土壌の構造や性質を理解することは、農業における土づくりの基本です。
大いに学んで、現場に役立ててください。

授業計画書

担当教員名: 明石 浩見 大橋 忠弘

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 2年次 植物・園芸デザインコース 大学併修自然環境総合科2年次	樹木医学	通年	2 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

樹木医学に関する基礎事項を学び、将来樹木医として活動できる素地を作る。
また緑の啓蒙・普及活動、次世代に緑の文化財を伝える技術者養成の場として
位置づける。

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	山の木の病害、獣害をみる	中之沢渓谷森林公園を実習地とし、山の樹木の病害、獣害、 人害を観察。診断方法、治療方法を学ぶ。
2	腐生菌、菌根菌をみる	中之沢渓谷森林公園を実習地とし、主に腐生、共生の視点から きのこを観察し、腐生菌、菌根菌を学ぶ。
3	街中の病樹を診る	鳥屋野潟周辺の樹木の病害、獣害、人害を観察。 診断方法、治療方法を学ぶ。
4	鳥屋野潟ソメイヨシノの診断	鳥屋野潟周辺のソメイヨシノを題材に病害、人害を観察。 診断方法、治療方法を学ぶ。
5	山の木の紅葉、落葉、冬芽をみる 菌類をみる 不適地への植樹の影響をみる	中之沢渓谷森林公園を実習地とし、樹木の紅葉、落葉、冬芽、 腐生菌、共生菌などの菌類を観察。 環境に合わない樹種を植えた場合の問題点、森の生態系を学ぶ。
6	樹木の治療法を学ぶ 高森大ケヤキの治療	新潟県の天然記念物 新潟市北区高森の大ケヤキの 診断方法、治療方法を学ぶ。
7	冬山の樹木をみる 樹木の寒さへの対応、メイプルシロップ作り	中之沢渓谷森林公園を実習地とし、冬芽など冬の樹木の様子を観察。 冬の樹木寒さへの対応を学び、メイプルシロップをとる
8	まとめ	樹木の病害、治療法について学んだことをまとめてレポートにする

評価方法

出席、受講態度、課題レポートなどで総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

プリント配布

学生へのメッセージ

実際の樹木医の先生、また樹木のスペシャリストの先生から学ぶ、他の学校ではなかなか学べない貴重な授業です。

授業計画書

担当教員名: 北澤　道子　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 植物・園芸デザインコース	栽培学	後期	2 コマ （　　）	32 コマ （　　）
			備考 選択科目 対面授業のみ実施	

授業のねらい

園芸業界に勤めるにあたって必要な栽培の知識、技術を身につける
植物の生理をもとに園芸に必要な栽培（播種、灌水、光の管理、繁殖、病理、施肥）の知識を学ぶ

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	ガイダンス（園芸作業での大事なこと）	理論に基づいて栽培すると植物を上手に育てられる理由を学ぶ
2	播種について（発芽に必要な条件）	科学的根拠に基づいてうまく発芽させる方法を学ぶ
3	播種について（様々な播種の方法）	理論に基づいて効率よく発芽させ、利用する方法を学ぶ
4	光量管理について（光合成の仕組み）	上手に栽培するため光合成光合成のしくみを学ぶ
5	光量管理について（栽培場所について）	上手に栽培するため植物の光合成を効率よく働かせる方法を学ぶ
6	灌水管理について（光合成と呼吸）	上手に栽培するためにバランスの良い光合成と呼吸の管理方法を学ぶ
7	灌水管理について（露地とコンテナの違い）	露地栽培とコンテナ栽培の違いを学び、各栽培の管理方法を学ぶ
8	繁殖について（挿し木）	繁殖方法の挿し木について特徴と方法を学ぶ
9	繁殖につて（球根繁殖）	繁殖方法の球根繁殖について特徴と方法を学ぶ
10	繁殖について（有性生殖、遺伝について）	繁殖方法の有性生殖について特徴と方法を学ぶ
11	繁殖について（育種とは）	新しい品種を作る仕組み（育種）と農業での育種の必要性を学ぶ
12	病害について（病気とは）	植物の病気の種類とそのサイクルを学ぶ
13	病害について（病害と防除）	植物の病害とその防除方法を身近な例から学ぶ
14	生理障害について（養分の必要性）	非生物による植物の障害を学び、その改善法
15	施肥のしかたについて	園芸種により環境の生態系を乱す可能性があることを学び、向き合い方を学ぶ
16	まとめ	今までの学びをどう将来に活かすか考える

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）、期末試験を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題	10	%
期末試験	70	%
		%

教科書・教材

プリントを配布

学生へのメッセージ

業界のプロになるにあたり、商品を販売するときに科学的根拠をもとにお客様へ説明できるようになりましょう。

授業計画書

担当教員名: 北澤　道子／他

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 植物・園芸デザインコース	セレモニーフラワー論	後期	2 コマ （　　）	32 コマ （　　）
			備考 選択科目 対面授業のみ実施	

授業のねらい

主に生花店のセレモニー分野についての基礎知識を身に着ける
生花の基礎知識を学ぶ

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	ガイダンス（フラワー業界の仕事の分類、 セレモニーについて、葬儀について）	フラワー業界が関係するセレモニーについて
2	葬儀について（文化、風習）	文化、風習の視点から葬儀について学ぶ
3	葬儀について（葬儀の流れ）	仏式を中心に葬儀の流れについて学ぶ
4	葬儀について（商品、業界のしくみ）	葬儀の商品と業界のしくみについて学ぶ
5	ブライダルの商品と業界のしくみ（内田先生）	ブライダルの商品と業界のしくみについて学ぶ
6	ブライダルのカウンセリングの仕方（内田先生）	式場と契約している場合のカウンセリングの仕方を学ぶ
7	ブライダルのカウンセリングの仕方（木下先生）	フリーでオーダーメイドの注文を受ける場合のカウンセリングの仕方を学
8	ブライダルのカウンセリングの仕方（木下先生）	フリーでオーダーメイドの注文を受ける場合のカウンセリングの仕方を学
9	葬儀について（壇上商品作り）①	葬儀祭壇の作り方を学ぶ（基礎）
10	葬儀について（壇上商品作り）②	葬儀祭壇の作り方を学ぶ（応用）
11	神道について	神道　神棚用の榊の組み方、玉串用の榊の選び方
12	ブライダル産業について（坂上先生）	海外のブライダル産業を学ぶ
13	ブライダル装花（デザイン）	ブライダル商品のデザインをする
14	ブライダル商品作り（木下先生）	デザインしたブライダル商品をつくる
15	ブライダル装花（デザイン）	ブライダル会場の装花をデザインする
16	まとめ	今まで学んだことから新商品の提案

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）、期末テストを総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題	10	%
期末試験	70	%
		%

教科書・教材

プリントを配布

学生へのメッセージ

セレモニーの重要さとその場面場面での花の関わりを学び、花で人々を祝福したり慰めたりする仕事のやりがいを感じ取ってください。

授 業 計 画 書

担当教員名: 秋山 正之　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 2年次 植物・園芸デザインコース	簿記	2年前期	2 コマ (　　)	32 コマ (　　)
			備考 選択科目 対面授業のみ実施	

授業のねらい

《目的》
1. 仕訳、精算表の作成などの会計処理から、店舗運営に必要な会計知識の基礎を学ぶ。
2. 財務諸表を作成する目的から、経営管理の基本理論を学ぶ。
3. 初歩的な原価計算から、販売活動に必要な費用計算、値入れの方法を学ぶ。

授業計画

テーマ	内容・方法・達成目標
1. オリエンテーション、簿記の目的	簿記が経営判断の指標になることを、企業経営の実例から学ぶ。
2. 財務諸表の目的	貸借対照表、損益計算書の目的を理解し、作成演習を通じて 企業経営における利益追求の重要性を学ぶ。
3. 仕訳と現金	借方、貸方の金額一致等、仕訳の原則を学び、現金勘定 を使った仕訳を実践し、仕訳の基本原則を理解する。
4. 勘定科目の5大属性	仕訳における勘定科目と、科目の属性を財務諸表の 記載箇所から学び、各属性の仕訳原則を理解する。
5. 売買仕訳	売上、仕入、掛の勘定科目を使用する仕訳を学び、 基本的な売買仕訳ができることを目指す。
6. 売買関連の仕訳	小切手、手形取引に関する勘定科目を使用する仕訳を学び 通常の売買仕訳ができることを目指す。
7. 売買以外の仕訳	固定資産売買、有価証券売買に関する仕訳を学び、 上記勘定を含めた基本的な仕訳ができることを目指す。
8. 決算整理	決算整理仕訳に通じて、商品棚卸、減価償却の方法を学ぶ。
9. 精算表作成	8桁精算表を作成し、決算手続の一連を学ぶ。
10. 財務諸表分析	財務諸表から読み取れる企業の状態を事例から学び、 健全な経営を維持することの重要性を理解する。
11. 原価計算	グループワークで店舗運営に必要な費用を考察しながら学び、 値入計算ができることを目指す。
12. 損益分岐点	原価計算における変動費、固定費の違いを理解し、損益分岐点 計算と目標売上高の計算ができることを目指す。
13. 簿記から学ぶ企業ルール	就職後に活用できる簿記知識や企業でのルールを 提示し、授業全体の振り返りを行う。

評価方法

右の評価割合で総合的に判断する。

評価割合		
出席	30	%
授業貢献	20	%
期末試験	50	%
		%
		%

教科書・教材

各回にて資料を配布する。

学生へのメッセージ

会計を行っていない企業はありません。就職した際にも活用できる簿記知識を学びましょう。

授 業 計 画 書

担当教員名: 田村晃宏・北澤道子　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 植物・園芸デザインコース	基礎園芸実習	通年	4 コマ (　　)	96 コマ (　　)
			備考 講師実務経験 田村晃宏(常勤)…1年 太田農園　生産職 北澤道子(常勤)…6年2ヶ月 有限会社すずき生花店　販売職	

授業のねらい

緑化植物の植栽や育成・管理、また工作物の制作を通して園芸技術の基礎を体得する。またSDG's を達成するうえで、植物の担う役割を大切さを考える。

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	ガイダンス・ 畑の場所、道具の確認・耕うん、pH、EC、照度計測	実習圃場の土壌調査、耕うんなどポタジェ植栽の準備をする
2	土の種類・種だんごつくりと植栽	種だんごという播種方法を学ぶ
3	圃場の整地・ポタジェデザイン・播種・苗管理	ポタジェのデザインをし、播種からはじめ植栽する苗の準備をする
4	ポタジェ作り・苗植栽・管理	ポタジェに苗を植栽する
5	株を大きくする「ペチュニア切り戻し」 「大きくなることを考えたデザイン」	切り戻しにより文枝し大きくなる苗を管理し、株を大きくする技術を学ぶ
6	収穫と利用 ハーブの収穫・保存・利用「エッグポマンダー」	圃場のハーブを収穫し、エッグポマンダーを作るなど利用法を学ぶ
7	鉢の種類と選び方・鉢の装飾	園芸資材を自ら作り、園芸新商品、楽しみの可能性を探る
8	多肉植物の扱い方「繁殖の仕方」 観葉植物の扱い方「寄せ植え」	多肉植物、観葉植物の扱いを学ぶ
9	ハンギングバスケット・軽い土つくり 寄せ植え	用途に合わせての土地選び、配合を学ぶ。寄せ植えの仕方を学ぶ。
10	株分けの仕方　ラン、グズマニアの株分け 挿し木の仕方　バラなどの花木の挿し木	株分け、挿し木などの栄養繁殖の仕方を学ぶ
11	ポタジェ管理・収穫	育てたものの収穫方法、その後の管理を学ぶ
12	促成栽培・アイスチューリップ 鱗片培養・ユリ	温度管理による開花調整の仕方を学ぶ。鱗片培養の仕方を学ぶ。
13	秋冬のポタジェ作り・苗植栽・管理 発酵もみ殻たい肥作り	冬野菜の栽培方法を学ぶ
14	ABioチューリップ球根植え	チューリップの生産方法を学ぶ
15	冬の寄せ植え 大きくならないことを考えたデザイン	冬の植物の育ち方、それを考慮した寄せ植えを学ぶ
16	バラ・宿根草の管理 剪定・寒肥	花木、宿根草の冬への準備のための管理方法を学ぶ

評価方法

出席、受講態度、課題レポート(小テスト含む)などで総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

プリント配布

学生へのメッセージ

耕うん、播種、収穫等園芸の基礎をしっかり学び、さらに新しい園芸の楽しみ方を模索し、プロへの準備をしましょう

授業計画書

担当教員名: 石山 浩

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 1年次 植物・園芸デザインコース	フラワーデザイン 実習	後期	2 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい
植物への理解を深めフラワーデザインの基礎の取得する。
まねる力、発想力、花の扱い方の強化。
制作の目的・コンセプトを明確に決め時間を意識して取り組むことを身に着け、
花を無駄にしない利用方法（ワイヤリング、投げ入れ等）を学ぶ。

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	コンテスト出展 企画準備 デザイン立案 花祭発注	市場まつりのデザインコンテストを想定してデザイン立案
2	コンテスト出展 出展作品制作	市場まつりのデザインコンテストを想定して作品制作
3	葬儀 供花スタンド	葬儀の供花スタンドを作る
4	ハロウィンアレンジ 企画制作	ハロウィンをテーマにデザイン立案、作品制作
5	ハロウィンアレンジ 企画振り返り	ハロウィンをテーマに作った作品の振り返り
6	デザイン分解 フラワーデザインの構成原理	フラワーデザインの構成原理を学ぶ
7	デザイン分解 共同形態	デザインの構成原理をふまえて「共同形態」というデザインつくる
8	クリスマスアレンジ	クリスマスをテーマにアレンジをつくる
9	クリスマスアレンジ リース	クリスマスをテーマにリースをつくる
10	正月アレンジ	正月をテーマにアレンジをつくる
11	校内コンテスト 企画準備 デザイン立案	校内でフラワーデザインのコンテストをする。そのデザイン案を立案する。
12	校内コンテスト 企画準備 花材発注	校内でフラワーデザインのコンテストをする。その花材を考え発注する。
13	校内コンテスト 出展作品制作	校内でフラワーデザインのコンテストをする。その作品をつくる。
14	フラワーウェーブ デザインコンテスト デザイン立案	フラワーウェーブ デザインコンテスト出展を想定し、デザインを立案。
15	フラワーウェーブ デザインコンテスト デザイン立案	フラワーウェーブ デザインコンテスト出展を想定し、デザインを立案。
16	フラワーウェーブ デザインコンテスト デザイン立案	フラワーウェーブ デザインコンテスト出展を想定し、デザインを立案。

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

フラワーデザイナーのための教科書

学生へのメッセージ

様々なフラワーデザインの形を学び、自分の引き出しを増やしましょう

授業計画書

担当教員名: 北澤 道子　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 1年次 植物・園芸デザインコース	植物病理学実験	通年	2 コマ ( )	32 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

植物の生育を阻害する要因の中で伝染性病害を取り上げて、その防除の基本となる診断方法を習得する。
またこの診断方法と植物病原菌の取り扱い方法を学ぶことにより病害防除、治療の基礎となる知識、技術を身につける。

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	ガイダンス・植物の病気とは 病徴を見つける	野外での病害観察、採集を通して健全な状態との違いを観察、診断
2	山の樹木の虫害・病害とその理由（観察）	野外での病害観察、採集を通して健全な状態との違いを観察、診断
3	山の菌類（腐生菌、共生菌観察）、地衣類（観察）	野外での病害観察、採集を通して健全な状態との違いを観察、診断
4	病気の診断(圃場の作物診断) 調査結果から診断を出す	野外での病害観察、採集を通して健全な状態との違いを観察、診断
5	センチュウの抽出、観察	センチュウの採取、抽出方法、同定方法を学ぶ
6	子嚢菌類、担子菌類による病害（観察）	病原菌の分離、培養、接種を行い病原であることの証明方法を学ぶ
7	病原菌培養 培養条件の違いによる違い（温度条件）培養	違った環境条件下での病原菌増殖の違いから環境要因との関係を学ぶ
8	病原であることの証明 病原体純粋培養	病原菌の分離、培養、接種を行い病原であることの証明方法を学ぶ
9	病原であることの証明 健全植物に接種、病徴再現	病原菌の分離、培養、接種を行い病原であることの証明方法を学ぶ
10	アロマオイルの抗菌効果	ペーパーディスク法によりアロなオイルの抗菌効果を見る
11	抗変異原性の実験	ハーブなどに抗変異原性がないか実験をする
12	病理学実験まとめ	まとめ
13		
14		
15		
16		

評価方法

出席、受講態度、課題レポートなどで総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

プリント配布

学生へのメッセージ

相手が病原と植物以外というのが植物病理学の面白いところです。
いろいろな実験を通して病原の菌、虫を知り、その結果植物をより知れる楽しみを味わいましょう。

授業計画書

担当教員名: 北澤　道子　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 植物・園芸デザインコース	植物育成管理学実習	前期	4 コマ （　　）	64 コマ （　　）
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

植物の育成管理に必要な知識を身につける。
特に観葉植物や花卉、樹木について中心的に行い、
病害虫や生育阻害要因について学習する。

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	土の再生	廃土を消毒、再利用することで、土壌の改良について学ぶ
2	樹木育成管理、花苗育成	半年間管理する花木を選定し、管理計画を立て管理する
3	宿根草ガーデン管理	宿根草の植え替えをし宿根草ガーデンを作る
4	宿根草ガーデン管理	宿根草ガーデンの花摘み、病害虫防除、追肥をする
5	宿根草ガーデン管理	宿根草ガーデンの病害、生理障害等同定し、治療する
6	バラの育成管理方法を学ぶ	越後丘陵公園　香りのバラ園見学
7	植物園の役割を学ぶ	県立植物園見学実習
8	植物園の植物の育成管理	県立植物園作業実習
9	樹木育成管理	担当の花木の生長、病害を観察し、適切な管理をする
10	宿根草ガーデン管理	宿根草ガーデンの管理をする
11	樹木育成管理	担当花木の観察、管理をする
12	宿根草ガーデン管理	現在の状況を把握し、秋、冬に向けての管理を計画する
13	樹木育成管理	担当花木の観察、管理をする
14	樹木育成管理	担当花木の観察、管理をする
15	宿根草ガーデン管理のまとめ	来年度に向け、より良いガーデンデザインを考え、改良案を提案する
16	樹木育成管理のまとめ	担当の花木の生長、病害についてまとめ、今後の作業計画を立てる

評価方法

出席、受講態度、課題レポート（小テスト含む）などで総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

プリント配布

学生へのメッセージ

自分で計画を立て、花木、宿根草の管理をすると本を読むだけの時には見逃した気づきがたくさんあると思います。
たくさんでてくる気づきを楽しんでください。

授 業 計 画 書

担当教員名: 齊藤　祐輔　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 植物・園芸デザインコース	ガーデニング実習Ⅰ	後期	3 コマ （　　）	48 コマ （　　）
			備考　対面授業のみ実施	

授業のねらい

実際に多くの植物や土に触れる。
植栽デザイン、段取り、施工、その後の維持管理までを実践的に学び、即戦力として就職できるよう力をつける。

授業計画

テーマ	内容・方法・達成目標
①　学校前花壇の植栽(秋・冬の植栽) ②	宿根草と一年草の違い、デザインのコツについて学ぶ。 予算に応じた平面図作成と数量算出。
③　駅南ロータリープランター植栽(秋・冬の植栽) ④	植物の選定とデザイン 数量算出を行い植物の手配方法を学ぶ
⑤　秋のガーデンメンテ ⑥	冬越しに必要な管理を学ぶ。 各現場での実践。
⑦　みどり香るまちづくり企画コンテスト植栽（@奥レク浦佐） ⑧	企画内容を把握し、現地での位置出し,植栽。
⑨　ショーガーデンを造る ⑩　（@聖籠・島見緑地） ⑪ ⑫ ⑬ ⑭	プランの立て方、プレゼンを学ぶ。 植栽時期に適した植物の選定、施工に向けての準備。 現場での施工。
⑮　**街の緑化に関するコンテスト応募** ⑯	実習で行っている街の緑化活動を題材に、該当するコンテストに応募する 応募のための製図、プレゼン準備

評価方法

受講態度に積極性がみられるか、
納期までに課題を提出できたかを主な評価基準として判断する。

評価割合		
出席	20	%
受講態度	40	%
課題	40	%
		%
		%

教科書・教材

学生へのメッセージ

ガーデニング実習は、現場での実践的な内容がほとんどです。植物に関わり現場で仕事をすることは、スピードと確実性が求められます。その中で、表現者であることを意識し、共に頑張りましょう！

授業計画書

担当教員名: 齊藤 祐輔　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 2年次 植物・園芸デザインコース	ガーデニング実習Ⅱ	前期	3 コマ ( )	48 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

実際に多くの植物や土に触れる。
植栽デザイン、段取り、施工、その後の維持管理までを実践的に学び、即戦力として就職できるよう力をつける。

授業計画

テーマ	内容・方法・達成目標
① 学校前花壇の植栽(初夏の植栽) ②	宿根草と一年草の違い、デザインのコツについて学ぶ。 予算に応じた平面図作成と数量算出。
③ 駅南ロータリープランター植栽(初夏の植栽) ④	植物の選定とデザイン 数量算出を行い植物の手配方法を学ぶ
⑤ 夏のガーデンメンテ ⑥	夏越しに必要な管理を学ぶ。 各現場での実践。
⑦ みどり香るまちづくり企画コンテスト植栽（@奥レク浦佐） ⑧	企画内容を把握し、現地での位置出し,植栽。
⑨ ショーガーデンを造る ⑩ （@聖籠・島見緑地） ⑪ ⑫ ⑬ ⑭	プランの立て方、プレゼンを学ぶ。 植栽時期に適した植物の選定、施工に向けての準備。 現場での施工。
⑮ **火山岩で鉢づくり・寄せ植え**	火山岩を削って加工し鉢をつくり、そこに寄せ植えをする
⑯ **冬囲い**	

評価方法

受講態度に積極性がみられるか、
納期までに課題を提出できたかを主な評価基準として判断する。

評価割合		
出席	20	%
受講態度	40	%
課題	40	%
		%
		%

教科書・教材

学生へのメッセージ

ガーデニング実習は、現場での実践的な内容がほとんどです。植物に関わり現場で仕事をすることは、スピードと確実性が求められます。その中で、表現者であることを意識し、共に頑張りましょう！

授業計画書

担当教員名: 内山　恵美子

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 植物・園芸デザインコース	環境デザイン実習Ⅰ	前期	3 コマ （　　）	48 コマ （　　）
			備考 対面授業のみ実施 講師実務経験 内山恵美子（非常勤）…10年6ヶ月 株式会社レック三和　商品開発職	

授業のねらい

ガーデンデザインができる
平面図、立面図、1点透視図が描ける。
「みどり香るまちづくり企画コンテスト」「全国造園コンクール」の応募を目指す

授業計画		
	テーマ	内容・方法・達成目標
1	基本的な線の描き方	基本的な線の描き方を学ぶ
2	デッサン、平面図の描き方①	平面図の描き方を学ぶ
3	デッサン、平面図の描き方②	平面図の描き方を学ぶ
4	デッサン、立面図の描き方①	立面図の描き方を学ぶ
5	デッサン、立面図の描き方②	立面図の描き方を学ぶ
6	1点透視図の描き方	1点透視図の描き方を学ぶ
7	1点透視図（並木道）着彩	透視図の着彩の仕方を学ぶ
8	1点透視図（街並み）着彩①	透視図の着彩の仕方を学ぶ
9	1点透視図（街並み）着彩②	透視図の着彩の仕方を学ぶ
10	全国造園デザインコンクール	造園コンクール出展に向けて企画をたてる
11	全国造園デザインコンクール	造園コンクール出展に向けて企画をたてる
12	全国造園デザインコンクール	造園コンクール出展に向けてデザインする
13	全国造園デザインコンクール	造園コンクール出展に向けてデザインする
14	みどり香るまちづくり企画コンテスト	みどり香るまちづくり企画コンテスト出展に向けて企画をたてる
15	みどり香るまちづくり企画コンテスト	みどり香るまちづくり企画コンテスト出展に向けて企画をたてる
16	みどり香るまちづくり企画コンテスト	みどり香るまちづくり企画コンテスト出展に向けて企画をたてる

評価方法

出席数、授業態度、提出物から配点し、
総合判断で評価する

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
提出物	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

プリントを配布

学生へのメッセージ

授業計画書

担当教員名: 齊藤 祐輔　　計画書作成日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 植物・園芸デザインコース	環境デザイン実習Ⅰ	後期	3 コマ （　　）	48 コマ （　　）
			備考 対面授業のみ実施 講師実務経験 齊藤祐輔（常勤）…11年6ヶ月 牛歩園緑化株式会社　造園施工職	

様々な場所で見学、実習を行いどのように緑や自然をデザインするればよいかを実践的に身につける。庭園・公園・緑地管理・室内装飾などからの視点を学び、最終的に庭園設計、施工管理に生かすことを目標とする。

授業計画

回	テーマ・内容	方法・達成目標
1	造園の基礎	結束の練習、道具類説明
2	林の中の庭園（医療福祉大の林）	医療福祉大林の整備
3	個人宅庭園	個人宅庭園の植栽・管理
4	施設の緑化植物管理（ふるさと村 ）	施設管理：ダリアの剪定管理
5	公園管理（いくとぴあ・天寿園）	新潟市の園芸施設と中国庭園を見学し、施設の概要の説明を
6	公園管理（鳥屋野潟公園 ）	公園の生態系を考えた管理について
7	和風庭園作成	学校敷地内の和風庭園を改修する
8	施設の緑化植物管理（ふるさと村）	施設管理：ダリアの球根堀上げ
9	公園管理（いくとぴあ）	常緑、一年草の剪定
10	公園管理（いくとぴあ）	花壇冬物植栽
11	和風庭園作成	学校敷地内の和風庭園を改修する
12	公園管理（いくとぴあ）	バラの冬季剪定・管理
13	和風庭園作成	学校敷地内の和風庭園を改修する
14	エクステリア展示見学（タカショー）	エクステリア展示場を見学
15	室内園芸	室内園芸装飾の実習
16	室内園芸	室内園芸装飾の実習

評価方法

課題作品の成績点数と出席及び受講態度を含め総合的に判断する。

評価割合		
出席	20	%
受講態度	30	%
課題	50	%
		%
		%

教科書・教材

学生へのメッセージ

我々の身近にある緑を見学・管理し、どのようにデザインに反映するかを考える。

授業計画書

担当教員名: 石山 浩

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 1年次 植物・園芸デザインコース	フラワーコーディネート 実習Ⅰ	前期	4 コマ ( )	64 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施 講師実務経験 石山浩（非常勤）…12年 フラワーショップ「Musubi屋」経営	

授業のねらい
植物への理解を深め現場での即戦力としての技術・心がまえの習得
・フローリスト検定4級レベルの取得
・コンセプトを明確に決め時間を意識して取り組むことを目指す

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	リボンワーク、テーピング	リボンワーク、テーピングを学ぶ
2	鉢ラッピング（花鉢）	鉢のラッピングの仕方を学ぶ
3	カジュアルフラワー	簡単な花束とラッピングを学ぶ
4	ワイヤリング・コサージ	コサージ作りに必要なワイヤリングを学ぶ
5	仏花	仏花の作り方を学ぶ
6	籠アレンジ （トライアンギュラー）	トライアンギュラーの形のアレンジメントの作り方を学ぶ
7	ギフト用アレンジ	三方見のアレンジメントの作り方を学ぶ
8	ギフト用花束	ギフトの用途の花束の作り方を学ぶ
9	テーブル装花	結婚式ゲストテーブルの装花を学ぶ
10	ワイヤリング・コサージ	コサージ作りに必要なワイヤリングを学ぶ
11	ブーケ （ホルダー）	ホルダーを使ったラウンドブーケの作り方を学ぶ
12	仏花 写真撮影	フローリスト検定4級の内容で仏花を作り、写真撮影をする
13	ギフト用アレンジ 写真撮影	フローリスト検定5級の内容でギフトアレンジを作り、写真撮影をする
14	花束（ワンサイド）	ワンサイドタイプの花束の作り方を学ぶ
15	ドライフラワーアレンジ	ドライフラワーの扱い方を学びアレンジメントを作る
16		

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

フラワーデザイナーのための教科書
フローリスト検定対応講座テキスト

学生へのメッセージ

挨拶、掃除、時間を意識して習うではなく、学ぶ姿勢で取り組んでほしい

授業計画書

担当教員名: 齊藤 祐輔　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 1年次 植物・園芸デザインコース	園芸総合実習Ⅰ	前期	4 コマ （　　）	64 コマ （　　）
			備考	

授業のねらい

園芸装飾技能士または造園技能士3級合格を目指す
そのための技術、知識を身に着ける

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	検定練習	検定練習
2	検定練習	検定練習
3	検定練習	検定練習
4	検定練習	検定練習
5	検定練習	検定練習
6	検定練習	検定練習
7	検定練習	検定練習
8	検定練習	検定練習
9	検定練習	検定練習
10	検定練習	検定練習
11	検定練習	検定練習
12	検定練習	検定練習
13	検定練習	検定練習
14	検定練習	検定練習
15	検定練習	検定練習
16	検定練習	検定練習

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題	80	%
		%
		%

教科書・教材

学生へのメッセージ

自分の目標とする検定合格に向けて練習を頑張りましょう！

授業計画書

担当教員名: 齊藤 祐輔　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 1年次 植物・園芸デザインコース	園芸総合実習Ⅰ	後期	4 コマ ( )	64 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

主に前期から引き続き、技能士検定課題について練習していく。
1年生は造園技能士検定対策としての実技練習と学科・要素の解説を行う。2年生は室内園芸装飾の実技課題をもとに練習、後半は卒業制作の計画・作業とする。

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	イベント準備	イベント準備
2	イベント準備	イベント準備
3	イベント準備	イベント準備
4	イベント準備	イベント準備
5	イベント準備	イベント準備
6	イベント準備	イベント準備
7	イベント準備	イベント準備
8	イベント準備	イベント準備
9	イベント準備	イベント準備
10	検定練習	検定練習
11	検定練習	検定練習
12	検定練習	検定練習
13	検定練習	検定練習
14	検定練習	検定練習
15	検定練習	検定練習
16	検定練習	検定練習

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題	80	%
		%
		%

教科書・教材

学生へのメッセージ

イベントの企画運営が自主的にできるスキルを身に着けましょう

授業計画書

担当教員名: 北澤　道子

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 植物・園芸デザインコース	園芸総合実習Ⅱ	後期	4 コマ （　　）	64 コマ （　　）
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

園芸装飾技能士または造園技能士2級合格を目指す
そのための技術、知識を身に着ける

授業計画		
	テーマ	内容・方法・達成目標
1	検定練習	検定練習
2	検定練習	検定練習
3	検定練習	検定練習
4	検定練習	検定練習
5	検定練習	検定練習
6	検定練習	検定練習
7	検定練習	検定練習
8	検定練習	検定練習
9	検定練習	検定練習
10	検定練習	検定練習
11	検定練習	検定練習
12	検定練習	検定練習
13	検定練習	検定練習
14	検定練習	検定練習
15	検定練習	検定練習
16	検定練習	検定練習

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題	80	%
		%
		%

教科書・教材

学生へのメッセージ

自分の目標とする検定合格に向けて練習を頑張りましょう！

授業計画書

担当教員名: 齊藤 祐輔　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科 2年次 植物・園芸デザインコース	園芸総合実習Ⅱ	後期	4 コマ ( )	64 コマ ( )
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

イベントがある場合のイベント準備が自主的にできる。
卒業制作を作ることにより、自らデザイン、材料の調達、作品制作、そのための段取りができるようになる。

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	イベント準備	イベント準備
2	イベント準備	イベント準備
3	イベント準備	イベント準備
4	イベント準備	イベント準備
5	イベント準備	イベント準備
6	卒業制作①	卒業制作のデザインをする
7	卒業制作②	卒業制作のデザインをする
8	卒業制作③	卒業制作のデザインをする
9	卒業制作④	卒業制作の試作をする
10	卒業制作⑤	卒業制作の試作をする
11	卒業制作⑥	卒業制作の作品を作る
12	卒業制作⑦	卒業制作の作品を作る
13	卒業制作⑧	卒業制作の作品を作る
14	卒業制作⑨	卒業制作の作品を作る
15	卒業制作⑩	卒業制作の作品を作る
16	卒業制作⑪	卒業制作の作品を作る

評価方法

出席・課題・平常点（授業態度）を総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

学生へのメッセージ

卒業制作は今まで学んだことの集大成です。今持っている知識技術をふんだんに盛り込んで作りましょう

授 業 計 画 書

担当教員名: 北澤　道子　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 植物・園芸デザインコース	ゼミナール	通年	3 コマ (　　)	96 コマ (　　)
			備考 対面授業のみ実施	

授業のねらい

園芸業界について理解を深めること、業界で働いていく上でのプレゼンテーション力、コミュニケーション力をつけることを目標とし、それぞれのテクニックを学びながら、業界について研究する。
またABioチューリップ関連の商品開発を検討し6次産業について学ぶ。
テーマごとの調査、研究結果を身に着けたスキルで卒業研究発表をする

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	6次産業　ABioチューリップ企画たて	ABioチューリップの商品開発についてディスカッションし、企画をたて今後の計画を話し合う。ディスカッションの技法を学ぶ。
2	6次産業　ABioチューリップ商品作り	計画立てた商品の試作をする
3	6次産業ABioチューリップ商品プレゼン	開発した商品を売り込む企画をたて発表する。 プレゼンテーションの技法を学ぶ
4	環境への業界の関わり（ディベート）	現在の園芸業界の課題をディベートという形で話し合う。 ディベートの仕方を学ぶ。
5	海外の園芸情報（英文和訳）	海外の園芸雑誌を訳し、海外の情報をキャッチする。
6	海外の園芸情報（プレゼンテーション）	雑誌から得た海外の情報をプレゼンテーションし、他の人と情報共有する
7	卒業研究発表準備	卒業研究内容を決め、研究する
8	卒業研究発表	研究内容を発表する

評価方法

出席、受講態度、研究発表内容などで総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
研究発表内容	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

プリント配布

学生へのメッセージ

業界に、新しい生活スタイルに合った商品の提案ができるように、様々なことに興味をもって取り組んでください

授業計画書

担当教員名: 北澤　道子　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 植物・園芸デザインコース	環境デザイン実習Ⅱ	後期	3 コマ （　　）	48 コマ （　　）
			備考　対面授業のみ実施	

授業のねらい

公園管理、里山の再生を通し、自然環境、都市環境での人と自然が調和する環境のデザインとその管理方法を学ぶ

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	香りに特化したガーデンのデザイン（奥レク）4/9	奥只見レクリエーション都市公園　八色の森公園 ハーブ園のデザインを企画①（企画）
2	香りに特化したガーデンのデザイン（島見緑地）4/16	みどり香るまちづくり入賞作のその後の課題抽出と管理
3	香りに特化したガーデンのデザイン（奥レク）4/23	奥只見レクリエーション都市公園　八色の森公園 ハーブ園のデザインを企画②（製図）
4	香りに特化したガーデンのデザイン（奥レク）5/10	奥只見レクリエーション都市公園　八色の森公園 ハーブ園のデザインを企画③（現地の再確認）
5	文化財の池泉庭園の管理を学ぶ5/14	旧齋藤氏別邸庭園見学
6	日本庭園と洋風庭園の調和を学ぶ テーマパークの植栽による演出を学ぶ　5/22、23	旧古河庭園、ディズニーシー見学（国内研修）
7	1年草のみでの遊歩道花壇のデザイン5/28	新発田市赤谷線花壇植栽①（土壌改良）
8	1年草のみでの遊歩道花壇のデザイン6/4	新発田市赤谷線花壇植栽②（植栽）
9	公園内のバラの管理6/11	いくとぴあ食花①（開花したバラの剪定）
10	CADを使った製図①6/18	みどり香るまちづくり応募作制作①
11	CADを使った製図②6/25	みどり香るまちづくり応募作制作②
12	1年草のみでの遊歩道花壇のデザイン7/2	新発田市赤谷線花壇植栽③（植栽）
13	CADを使った製図③7/9	みどり香るまちづくり応募作制作③
14	公園内のバラの管理7/16	いくとぴあ食花②（夏のバラの剪定、発表）
15	公園とビオトープ(公園植栽管理)8/20	鳥屋野潟公園（公園内のビオトープとその管理について、植栽の管理について）
16	林の中の日本庭園造り8/27	医療福祉大の林の一部を開墾、造園開始(後期へ続く)

評価方法

出席数、授業態度、提出物から配点し、
総合判断で評価する

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

プリントを配布

学生へのメッセージ

授業計画書

担当教員名: 佐藤　玲子／渡部　陽子

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 植物・園芸デザインコース	環境デザイン実習Ⅱ	後期	3 コマ （　　）	48 コマ （　　）
			備考　対面授業のみ実施	

授業のねらい

植物の品種、生育環境や組み合わせを理解し、
コンセプトやテーマに沿った植栽計画を立てることができる

授業計画		
	テーマ	内容・方法・達成目標
1	1年次復習	平面図、立面図
2	1年次復習	一点透視図
3	植物を知る 分類・根のタイプ・品種のこと植物の生育環境	植物の分類や品種、生育環境を学び、植栽デザインにおける植物の組み合わせについて学ぶ。 自分のテーマやコンセプトに沿って植物種を選定する。
4	植栽計画を考える～植栽の機能と種類～	
5	植栽計画を考える ～植物の生長量を配慮した計画～	
6	植栽計画を考える～植物の組み合わせ～実習	
7	植栽計画を考える～実習・発表～	
8	造園コンクール作品作成	コンクール作品のデザイン、テーマ、タイトルを決める
9	造園コンクール作品作成	配置図作成
10	造園コンクール作品作成	配置図、透視図作成
11	造園コンクール作品作成	透視図作成
12	造園コンクール作品作成	A1サイズにレイアウト
13	造園コンクール作品作成	レイアウト仕上げ
14	作品の評価、仕上げ	コンクール応募要領に合わせて仕上げ
15	作品の評価、仕上げ	コンクール応募要領に合わせて仕上げ
16	発表	作品の発表会をする

評価方法

出席数、授業態度、提出物から配点し、
総合判断で評価する

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

プリントを配布

学生へのメッセージ

造園コンクール応募、入賞を目指しましょう

授業計画書

担当教員名: 北澤　道子　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 植物・園芸デザインコース	生態系調査実習	通年	2 コマ （　　）	32 コマ （　　）
			備考　対面授業のみ実施	

授業のねらい

1、様々な身近な環境の植物、動物を調査し、各環境の生態系を把握する。
2、捕食被食、寄生共生など生物間相互作用や作用反作用など生物と非生物の関係も理解し、環境問題、環境保全について考えることが出来るようになる

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	ガイダンス(生態系関連の専門用語解説)	
2	医療福祉大の林の再生計画　計画の立て方	林を望む状態に再生するために必要な調査の計画を立てる
3	医療福祉大の林の再生計画　計画の立て方	林を望む状態に再生するために必要な調査の計画を立てる
4	妙高いもり池の環境（外来種と在来種）	妙高いもり池の環境を外来種と在来種に着目して調査する
5	妙高いもり池周辺　湿地の植生	妙高いもり池の環境を競合、すみ分け、共生などに着目して調査する
6	妙高いもり池周辺　山の中、斜面の植生 （パイオニアツリーとその後の遷移）	妙高いもり池の環境を遷移に着目して調査する
7	妙高調査まとめ	調査結果をまとめ、考察する
8	医療福祉の・林鳥類調査① ルートセンサス、ポイントセンサス	鳥類調査の方法を学び、夏の林の鳥類調査をする
9	医療福祉大の林　植生調査① 林の植物収集、コドラート法での植生調査	コドラート法を学び、夏の林の植生調査をする
10	学校周辺の幹線道路、住宅街での、初夏の植生・病害・ 昆虫、鳥類観察（ルートセンサス）	学校周辺を歩きながらそこでの動植物を観察する
11	雪国植物園見学（新潟の里山の植生）	新潟の里山の植生を学ぶ
12	医療福祉大の林　鳥類調査② ルートセンサス、ポイントセンサス	鳥類調査の方法を学び冬の林の鳥類調査をする
13	医療福祉大の林　植生調査② 林の植物収集、コドラート法での植生調査	林のコドラートでの冬の植生調査をし、夏との違いを見つける
14	県立科学館見学（新潟の里山の動物）	新潟の里山の動物を学ぶ
15	医療福祉大の林　林の再生計画まとめ	林の調査結果をまとめ、考察する
16	生態系調査実習全体のまとめ	授業で学んだ内容、調査した内容について考察し発表する

評価方法

出席、受講態度、課題レポート、発表内容などで総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

プリント配布

学生へのメッセージ

身近な自然を題材に自然環境保全の考え方と方法を学びましょう

授業計画書

担当教員名: 北澤　道子　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 植物・園芸デザインコース	グリーンコーディネート 実習	通年	2 コマ （　　）	64 コマ （　　）
			備考 選択科目 対面授業のみ実施	

授業のねらい

1、身近な様々な植物に触れ、その特性を学び園芸の楽しみを知る
2、植物のインテリアとしての楽しみ方を研究し、新しい商品を開発できるようになる
3、ハーブの効能と楽しみ方を学び、新しい商品（メニュー等）を考えることができるようになる

授業計画

	テーマ	内容・方法・達成目標
1	ガイダンス（園芸業界の現在の流行）	授業全体の説明と雑誌などから園芸の流行を探る
2	タンポポのインテリア	タンポポの特性を知り、インテリアとしての楽しみ方を学ぶ
3	ケミカルガーデン①	ケミカルガーデンの作り方を学ぶ
4	ケミカルガーデン②	ケミカルガーデンと植物のコラボ方法を考える
5	植物標本インテリア①	ドライフラワーの植物標本スタイルのインテリアを作る
6	植物標本インテリア②	レジン封入法での植物標本スタイルのインテリアを作る
7	植物標本①	学術的な植物標本の作り方を学ぶ。 植物採取、押し花
8	植物標本②	学術的な植物標本の作り方を学ぶ。 標本作成
9	ハーブを楽しむ①	各ハーブの効能を学び、その効能を活用した商品を考える
10	ハーブを楽しむ②	各ハーブの効能を学び、その効能を活用した商品を考える
11	苔盆、コケテラリウム①	苔の種類を同定し、その特性を調べる。特性に合わせての作り方を学ぶ
12	苔盆、コケテラリウム②	苔の種類を同定し、その特性を調べる。特性に合わせての作り方を学ぶ
13	エアプランツインテリア①	エアプランツの特性について学び、エアプランツのインテリアを作る
14	エアプランツインテリア②	エアプランツの特性について学び、エアプランツのインテリアを作る
15	実生苗でインテリア①	実生苗を育て、豆盆栽や小さな鉢物を作る
16	実生苗でインテリア②	実生苗を育て、豆盆栽や小さな鉢物を作る

評価方法

出席、受講態度、課題レポート、発表内容などで総合的に評価

評価割合		
出席	10	%
受講態度	10	%
課題レポート	80	%
期末試験		%
		%

教科書・教材

プリント配布

学生へのメッセージ

身近な植物を題材に新しい飾り方、楽しみ方をみつけましょう

授業計画書

担当教員名: 秋山　正之　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 植物・園芸デザインコース	就職実務	前期	2 コマ （　　）	32 コマ （　　）
			備考 対面授業と遠隔授業の併用実施	

授業のねらい

《人間力育成》 1. 社会人の基本言動「挨拶」「敬語での会話」を自ら率先し、習慣となることを目指す。
2. 社会人に必要なコミュニケーションスキルを身につけ実践できることを目指す。
《学びの根》 レポートの記述、基礎計算力を習得し、専門知識学習の土台となる基礎学力を身につける。
《ABioゼミ》 業界人の講演を聴き、働き方や業界就職など自己の将来像を描く参考にする。（月１回程度実施）

授業計画	
テーマ	内容・方法・達成目標
《人間力育成》 1. イントロダクション、挨拶、正しい分離礼の実践	挨拶の習慣化に向けた動機づけを行う。面接で求められる分離礼を体得し、授業前後の挨拶で実践で習慣化を目指す。
2. 敬語の種類	尊敬語、謙譲語の特性を理解し、ケーススタディを通して普通語から尊敬語、謙譲語へ変換できることを目指す。
3. 受け手を意識した書き方、聞き方、話し方	5W1H、固有名詞や数字を使った会話をケーススタディを通じて学び、相手に内容が伝わるメモ書き、会話の実践を目指す。
4. コミュニケーション①　来客応対 5. コミュニケーション②　電話応対 6. コミュニケーション③　チームワーク	企業内で求められる応対時の会話、上司同僚への話し方をケーススタディを通じて学び、これらの実践に必要な知識と基礎的なスキルの習得を目指す。
7. コミュニケーション検定　答案練習	前期学習の振り返りとして、コミュニケーション検定初級の過去問題演習を行い、検定試験の合格を目指す。、
《学びの根》 1. ノートのまとめ方	授業内容の理解促進に向けた、効率的かつ分かりやすいノートのまとめ方を学習し、実践できることを目指す。
2. 基礎計算演習	専門知識の学習に必要な計算力の習得に向け、習熟度別でクラスを分け、クラスごとの到達点に向けた計算演習を実践する。
3. レポートの書き方	各科目で提出を求められるレポートの基本的なルールや書き方を学習し、実践できることを目指す。
《ABioゼミ》 業界人講演	業界人の講演を聴き、働き方や業界就職など自己の将来像を描く参考にする。

評価方法	評価割合		
右の評価割合で総合的に判断する。		出席	70 %
		授業貢献	30 %
			%
			%

教科書・教材

コミュニケーション検定　初級　公式ガイドブック

学生へのメッセージ

本実習では、学生自ら栽培品目の決定・栽培計画・作業・販売計画を一貫して行います。教員はアドバイスはしますが「指示」は出しません。実際の農家が行うことを学生のうちから経験することによって、自ら考え創り出す農業を実践していきます。すべては、学生自身の熱意とヤル気です。これまでの基礎をもとにしっかり取り組みましょう。

授業計画書

担当教員名: 秋山　正之　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 植物・園芸デザインコース	就職実務	1年後期	2 コマ （　　）	32 コマ （　　）
			備考 対面授業と遠隔授業の併用実施	

授業のねらい

《人間力育成》 1. 社会人の基本言動「挨拶」「敬語での会話」を自ら率先し、習慣となることを目指す。
2. 社会人に必要なコミュニケーションスキルを身につけ実践できることを目指す。
《学びの根》 レポートの記述、基礎計算力を習得し、専門知識学習の土台となる基礎学力を身につける。
《ABioゼミ》 業界人の講演を聴き、働き方や業界就職など自己の将来像を描く参考にする。（月1回程度実施）

授業計画

テーマ	内容・方法・達成目標
《人間力育成》 1. キャリア構築における自己分析	興味関心など、自分史作成を通じて振り返り確認する。
2. キャリア構築における他者による分析	自己分析により自覚した強み、長所を他者の視点から確認してもらい、気づきを得る。
3. 業界、企業、職種研究	自己の希望している業界の現状と今後の発展、業界の企業と、業界マップの作成、自己の能力を発揮できる職種を知る。
4. キャリアマップの作成	これまでのテーマで知りえたことを基に、自己のキャリアマップを作成し、自己の強み、興味から選択した業界、それに向けた今後の行動を認識する。
《学びの根》 1. 常用漢字	常用漢字を使用することを意識させた就職作文や履歴書作成通じ、文章作成力の向上を図る。
《ABioゼミ》 業界人講演	業界人の講演を聴き、働き方や業界就職など自己の将来像を描く参考にする。

評価方法	評価割合		
右の評価割合で総合的に判断する。		出席	70 %
		授業貢献	30 %
			%
			%
			%

教科書・教材

コミュニケーション検定　初級　公式ガイドブック

学生へのメッセージ

授業計画書

担当教員名: 各科担当　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 植物・園芸デザインコース	就職実務	※	※ コマ （　　）	※ コマ （　　）
			備考　対面授業と遠隔授業の併用実施	

授業のねらい

就職活動に向けた対策、準備

授業計画	
テーマ	内容・方法・達成目標
各学年に応じた就職活動対策を実施 担任、就職部による面談も随時実施	

評価方法	評価割合		
右の評価割合で総合的に判断する。		出席	70 %
		活動状況	30 %
			%
			%
			%

教科書・教材

学生へのメッセージ

授業計画書

担当教員名: 秋山　正之

印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 植物・園芸デザインコース	一般教養	後期	1 コマ （　　）	16 コマ （　　）
			備考　対面授業のみ実施	

授業のねらい

社会・組織の一員として必要不可欠な社会常識を理解し、初歩的な仕事を処理するために必要な知識やビジネスマナーを学び、社内外の人と良好な関係を築くために求められるコミュニケーション能力を習得する。1月に行われるビジネスマナー検定3級の合格を目指す。

授業計画

回	テーマ・内容	方法・達成目標
1	導入	なぜ社会人常識マナーが必要か
2	社会と組織	社会人としての自覚、組織と役割
3	仕事と成果	仕事と目標、主体性と組織運営
4	一般知識	基礎用語、基礎知識
5	ビジネス計算	計数センスを磨く
6	ビジネスコミュニケーション	仕事の成果と人間関係
7	社会人にふさわしい言葉使い	尊敬語、丁寧語、謙譲語
8	ビジネス文書	ビジネス文書の書き方、種類、グラフの種類と作成
9	職場のマナー	出勤から終業まで、公私と機密のけじめ
10	来客対応	来客対応の重要性、手順
11	電話対応	電話を受ける、電話を掛ける、FAXする
12	交際業務	慶事、弔事、見舞い
13	文書類の受け取りと発送	発信文書の受け取り、発送、職場環境を整える
14	検定対策①	社会人常識マナー検定の過去問題　解説
15	検定対策②	社会人常識マナー検定の過去問題　解説
16	検定対策③	社会人常識マナー検定の過去問題　解説

評価方法

課題と出席及び受講態度を含め総合的に判断する。

評価割合		
出席	20	%
受講態度	30	%
課題	50	%
		%
		%

教科書・教材

社会人常識マナー検定テキスト2・3級

学生へのメッセージ

ただ暗記するだけではなく、日常生活でのマナー実践を心がけるようにする。

授業計画書

担当教員名: 峯岸　希一　　計画書作成日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1年次 植物・園芸デザインコース	OA実習	前期	3 コマ (　　)	32 コマ (　　)
			備考 対面授業のみ実施 年度末に資格試験実施予定	

現在、私達の生活でごく当たり前に使用するようになったパソコン。もちろん、仕事の上でもいまや1人1台が当然の時代である。OA実習では、企業でも使用率の高いマイクロソフトエクセルの使用方法を学ぶ。就職後、実務でのパソコン操作に役立つ知識、及びアプリケーション操作を身につける事を目的としている。SDG's社会ではペーパーレスが必須であり、デジタル化を推進するための授業でもある。

授業計画	
テーマ	内容・方法・達成目標
Windowsの基本操作	パソコンの基本操作、および入力について学ぶ。入力操作の手順を覚えることが目標。
Excelの基本操作 データの入力	Excelの画面構成の仕組みを理解する。データの入力方法を理解する。Excelのデータ扱いの違いについて覚えることがポイント。
データの編集・表の作成	データの移動とコピー・行列の操作。作表の仕方、表示形式の理解。表を理解しながら作成できることが目標。
練習問題	今までの操作について演習問題を解き、操作を身につける
ブックの印刷 グラフと図形の作成	印刷イメージの確認・ページ設定・グラフの作成。印刷の基本、グラフ作成の手順を覚え、グラフ作成がスムーズにできることが目標。
ブックの利用と管理	ワークシートやウインドウの操作を理解し、作業の中で複数の方法から使えることが目標。

評価方法	評価割合		
授業への取り組み方、タイピング習得状況、課題作業、期末試験結果を評価対象とします。		平常点	20 %
		課題作業	20 %
		期末試験	60 %
			%
			%

教科書・教材

Excel2016クイックマスター基本編、Excel表計算処理技能認定試験3級問題集(2016対応)

学生へのメッセージ

しっかりとしたアプリケーションスキルを身につけましょう。今までコンピュータをあまり使用したことのない人も心配は無用です。検定合格を目標として、頑張りましょう。

授業計画書

担当教員名: 峯岸　希一　　計画書作成日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　2年次 植物・園芸デザインコース	OA実習	後期	3 コマ （　　）	32 コマ （
			備考 対面授業のみ実施 年度末に資格試験実施予定	

現在、私達の生活でごく当たり前に使用するようになったパソコン。もちろん、仕事の上でもいまや1人1台が当然の時代である。OA実習では、企業でも使用率の高いマイクロソフトエクセルの使用方法を学ぶ。就職後、実務でのパソコン操作に役立つ知識、及びアプリケーション操作を身につける事を目的としている。SDG's社会ではペーパーレスが必須であり、デジタル化を推進するための授業でもある。

授業計画	
テーマ	内容・方法・達成目標
関数	Excelで使用する基本的な関数を学ぶ。関数の書式、呼び出し方。 数式バーでの関数の理解を目指す。
練習問題	練習問題を通じ、今までの理解度を確認する。
データベース機能	Excelを使用したデータベース機能を学ぶと共に、データベースの構成を学ぶ。リスト形式の用語と形式の特徴を覚えることが目標。
サーティファイExcel3級検定対策(練習問題)3週間	検定対策問題集を使用して、問題独特のクセや解き方を学習する。問題を沢山解く中でスピードアップも狙う。(60%の出来を目指す)
サーティファイExcel3級検定対策(模擬問題)5週間	問題に慣れてきたら、実際の試験を想定し、同じ環境での模擬問題を行う。個人差がでてくる頃なので、個人対応を行い弱点克服を狙う。(模擬は合格得点以上を目指す)
サーティファイExcel3級検定試験	USB内のプログラムを利用して、資格試験を行う。

評価方法

授業への取り組み方、タイピング習得状況、課題作業、資格試験結果を評価対象とします。

評価割合		
平常点	20	%
課題作業	20	%
資格試験結果	60	%
		%
		%

教科書・教材

Excel2016クイックマスター基本編、Excel表計算処理技能認定試験3級問題集(2016対応)

学生へのメッセージ

しっかりとしたアプリケーションスキルを身につけましょう。今までコンピュータをあまり使用したことのない人も心配は無用です。検定合格を目標として、頑張りましょう。

授業計画書

担当教員名: 各科担当　　印刷日:

学科 ／ 学年 ／ コース	科目名	開講期間	週当り授業時間	総授業時間
フラワーデザイン科　1・2年次 植物・園芸デザインコース	地域活動	通年	※ コマ （　　）	32 コマ （　　）
			備考　対面授業のみ実施	

授業のねらい

校訓における「調和」の精神のもと、地域で行われるイベント、行事へボランティアとして参画し、地域、社会との調和を体験する。

授業計画	
テーマ	内容・方法・達成目標
規定回数　イベント、ボランティアへの参加	

評価方法	評価割合	
右の評価割合で判断する。		出席　100　%
		%
		%
		%
		%

教科書・教材

学生へのメッセージ